



人気のミドリガメ 輸入を規制 5年後めど

「ミドリガメ」の名で知られる外来種「ミシシippアカミミガメ」が日本固有の生態系に悪影響を及ぼしているとして、環境省は、輸入を規制する方針を固めました。5年後をめどに検討しています。近年は年10万匹程度が輸入され、祭りの露店やペットショップで人気ですが、将来的には店から姿を消しそうです。環境省は規制開始の前に、生息状況や効果的な駆除法を調べるため、2016年度予算の

生態系に悪い影響

概算要求に関連費用を盛り込みます。

同省によると、アカミミガメは1950年代後半に米国からの輸入が始まり、2013年時点では110万世帯で推計180万匹が飼育されています。

ピーク時の1990年代半ばには年間100万匹が輸入されましたが、飼えずに捨てられたり、逃げ出したりして野生で繁殖。



ミドリガメの名で知られるミシシippアカミミガメは東京・日比谷公園(環境省提供)

日本固有のニホンイシガメの餌やすみかを奪うなど悪影響を及ぼし、2013年に自然保護団体が実施した調査では、見つかったカメの約6割がアカミミガメでした。

徳島県では特産品のレンコンの新芽が食べられて11年に1500万円の被害が出るなど、水草や農作物への食害も問題になっ

ています。環境省は、外来生物法に基づき、飼育や販売が原則禁止される「特定外来生物」への指定を検討していますが、「飼育が許可制になると、ペットのカメが大量に捨てられるのでは」との懸念があり、進みませんでした。

2015年8月23日 朝刊 YOMOっと静岡

①ミドリガメは、いつごろ、どこの国から輸入が始まりましたか。

[]

②日本でどのくらい増えているか、分かることを書きましょう。

[]

③ミドリガメが増えると、困ることを書きましょう。

[]

年 組 名前

(小学校中学年以上・中学校 理科・総合)